

科目コード	N310
授業科目名	小児看護学実習
授業科目名(英文)	Clinical Practice in Child Health Nursing
講義室等	実習施設
学科	看護学科
対象学年	3年・4年
開講学期	後学期・前学期
必修・選択の別	必修
単位数	1・1
時間数	45・45
該当ディプロマ	◎看DP-2
該当コンピテンス	◎看CP-4、○看CP-3、△看CP-9
学科	
対象学年	
開講学期	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
該当コンピテンス	
担当教員	中村 恵美
授業の概要	小児期にある対象者とその家族を、身体的・心理的・社会的な健康状態、ライフプロセス、成長・発達の側面から統合的に理解し、健康または健康回復のための生活行動を支援するための基礎的能力修得を目指す。乳児期から思春期までの発達段階にあり、急性期または慢性期の経過をたどる小児を受持ち、指導・助言を得ながら看護過程を展開する。カンファレンスを通して、より良い看護を探究するとともに、看護専門職としての自己の在り方を省察し、今後の課題を見いだす。
授業の到達目標 (学修効果)	1. 対象者が必要としている看護師の役割を見だし、援助的人間関係を築くことができる。 2. 対象者の健康問題や環境・状況の変化に対する人間の反応を的確に捉え、看護計画を立案し、一部を実施・評価できる。 3. チーム医療における看護師の役割を理解し、必要な事項を適切に連絡・報告・相談できる。 4. 主体性・協調性をもって実習にのぞみ、自己の課題を見いだすことができる。
予習復習の所要時間	実習時間45時間+看護過程の展開に応じて、事前学習および実習記録のための時間を要す。
成績評価方法	事前学習、看護実践力、実習態度、実習記録について「小児看護学実習評価表(ループリック)」に基づき総合的に評価(100%)し、60点以上を合格とする
教科書	①奈良間美保 他著「系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学[1]小児看護学概論小児臨床看護総論」第13版(医学書院) ②奈良間美保 他著「系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学[2]小児臨床看護各論」第13版(医学書院)
参考書	適宜必要な文献を選び、使用する。
その他	*詳細については臨地実習要項及び実習の手引きを参照すること。

		実習内容・実習場所	実習の形態	実習担当者
1	第1週目	1日目：(AM)学内オリエンテーション／病棟オリエンテーション、情報収集、(PM)病棟実習 2日目：(AM/PM)病棟実習 3日目：(AM/PM)病棟実習 4日目：(AM)病棟実習、(PM)医療安全カンファレンス 5日目：(AM)事例検討会 (PM)学内実習		中村 恵美 新川万里子
2	第2週目	1日目：(AM/PM)病棟実習 2日目：(AM/PM)病棟実習 3日目：(AM/PM)病棟実習 4日目：(AM)病棟実習、(PM)実践報告会 5日目：(AM)看護倫理カンファレンス、(PM)学内実習	・対象の看護計画を立案し、日々の行動計画に基づき、実施/評価/計画修正を行う ・カンファレンスを通してより良い看護を探究すると共に、グループ内で情報を共有し学びを深める ・2週間の看護実践を振り返り、今後の課題を見出す	中村 恵美 新川万里子